

## 第2回 道の駅よこはまエリア事業推進協議会 議事要旨

日時：平成28年12月22日（金）9:30～11:00

場所：横浜町「洗心閣」

### 【インターンシップ報告について】

- ・売上額の公表は生産者のやる気につながる。
- ・学生が提示した課題について取り組んでいることはあるか？  
→スタッフおよび関係団体と情報共有できる一言カードを導入  
1月～3月には定休日があるのでそれを活用して接客・マナー研修を行う予定

### 【地域経営担い手育成事業について】

- ・神奈川県逗子市の「すずきや」に研修に行き、試食販売を行った。なぜ「すずきや」かという地域に根ざした商売をしているから
- ・とにかく店長のアピールが上手い。試食販売の際、あたふたしてると、どこからきたのか、何がうりなのか、自分たちの代わりにアピールし、お客を引きつけた
- ・菜の花の一番搾りを使ったドーナツで、胃にもたれないとアピールしたら飛ぶように売れた
- ・外に出てわかることが非常に多く、勉強になった。

### 【よこはま温泉バス道の駅延伸について】

- ・道の駅だけ盛り上がると街中の商店が廃れてしまう。町全体が潤うような対策をとらないといけない。

### 【ワーキンググループ会議内容について】

- ・主要産品のじゃがいもを使って、客を呼び込むなど様々考えていく必要がある

### 【弘大平井准教授より意見】

- ・当初は動きが鈍かったが、9月頃から議論が加速してきた。ワーキングに道の駅からも駅長が忙しければ、スタッフの方が代理出席してもらいたい。皆で議論して大きなうねりにつなげていきたい。

### 【八工大武山教授より意見】

- ・インターン情報を広く公開すれば、全国からの申込み等につながるかもしれない。
- ・道の駅への立寄率のデータをとっておけば、供用後と比較して検証できる。
- ・丁寧に町民の意見を汲み上げて、皆が住みやすい町にしていく必要がある。

—以上—